

## 第7-8回 宿泊研修

### 宿泊研修1日目 平成30年8月4日（土）

[場 所] 美里町・でんえん土田畑村 美里町木間塚字原田 5 番地

[使用したテキスト] 『耕人』第7-4号.pdf

[活動内容詳細]

#### ●開会行事（塾長挨拶）

宿泊研修のテーマは、“頭と心と体を鍛えるワークショップ”。開会行事は、でんえん土田畑村から移動して農村環境改善センターで行われました。木村塾長から、今回の宿泊研修を通して、絆を深め、塾生一人一人が極めたものを自分のものにできるように全力で取り組むとともに楽しく活動してほしいと励まされました。



木のぬくもりのあるログハウスの施設「でんえん土田畑村」に宿泊して研修が行われました。

#### ●「雅楽を極めよう」 11:00～12:30 <場所：農村環境改善センター>

雅楽は、1200年以上の歴史を持ち、日本だけでなく世界の古典音楽として、外国でも非常に高く評価されています。国の重要無形文化財であるとともに、2007年にはユネスコの無形文化遺産にも登録されました。講師は、国内外で活躍する雅楽奏者の中村仁美氏。伝統文化に触れる貴重な体験でした。



雅楽を分かりやすく、解説を交えながら紹介する中村氏の講話と演奏に耳を傾ける塾生たち



「越天楽（えてんらく）」の歌い方も教えていただき、雅楽の楽器の演奏に合わせて歌いました。



雅楽の楽器『笙（しょう）』に触れながら音を出して体験している塾生たち。吹き口がついた頭（かしら）に17本の竹の管が立っていて、一度に何本かの管を同時に鳴らすことができ、それで和音を奏でます。吹いても吸っても音が出せることはハーモニカと同じで、音色も似ていると思いました。



主旋律を演奏する『箏箏（ひちりき）』に挑戦する塾生たち。吹き方によって、同じ指使いのままに音の高さを変えることができる楽器なので、安定した音を出すのがとても苦労しました。



『龍笛（りゅうてき）』は、指使いで音程を変え、さらに吹き加減で高い音域と低い音域を吹き分けます。龍笛の穴に息を吹き込むのですが、唇の当て方にコツがありそうです。

#### 【塾生の感想】

- 「紙を巻いた笛、ストロー笛、ヨシ笛なども紹介され、発見と感動がありました。」
- 「龍笛（りゅうてき）の音を出すのが大変でした。音が出たときは嬉しかったです。」
- 「箏箏（ひちりき）は、不思議な音の出る楽器でした。最初の音を聴いたときは、想像していた音よりもかなり違っていたので驚きました。」

#### ●「ラジオ体操を極めよう」 13:30～15:00 <場所：南郷体育館>

ラジオ体操は、曲を聞けば、ほとんどの人が自然と体を動かしてしまうほど、馴染みのある体操です。正しく行えば高い運動効果が期待できます。そこで、一つ一つの動作のねらいを確かめながら、心を込めて「ラジオ体操第一」に取り組み、グループごとに練習して発表会をしました。



講師を務めた女川中学校の松尾智子先生から、ラジオ体操の一つ一つの動作には目的とねらいがあることを教えていただきました。塾生は、動作を確認しながら、指先や姿勢などに気を付け、グループごとに分かれて真剣に練習に取り組みました。



グループごとに「ラジオ体操第一」の練習を行った後に、練習の成果を発表しました。

●「カレーを極めよう」 16:00～17:30

野外活動施設でグループに分かれ、カレーライス作りに挑戦。



火おこしや火加減に苦労しながら、チームワークで美味しいカレーづくりを目指しました。



各班に分かれて作ったカレーライスは、微妙に味が違いました。真心のこもったカレーライスの審査を塾長が行いました。すべての班のカレーライスが美味しかったと、評価されました。

#### ●木村塾長より 19:00~20:00

『耕人』第7-4号を読みながら、「主体性」と「楽しさ」について塾生同士で確かめることができました。さらに、耕人塾の指導方針である「文・武・楽三道（学問・武道・スポーツや趣味）」について、塾長からお話しされた後に、居合道の演武が行われました。



塾生は、緊張した空気が漂う中で、居合道の演武の迫力に触れ、「気・剣・体」の一致や礼儀作法の大切さなど、直接触れることができました。

#### ●「夜を極めよう(花火)」 20:00

花火の炎を見つめ、今日の活動を振り返り、自己を見つめる時間になりました。



線香花火をしながら、塾生同士が語り合い、絆を一層深めることができました。

## 宿泊研修 2 日目 平成30年8月5日（日）

### ●「清掃を極めよう」 6:30～7:30

ラジオ体操の後、でんえん土田畑村周辺のゴミ拾いを行いました。



用水路や歩道脇に落ちていたゴミを拾う塾生と指導委員。ビニールなど不燃性のゴミが草むらの中がありました。



宿泊施設「でんえん土田畑村」をバックに、ゴミ拾いを終えた後の集合写真

●「キンボールを極めよう」 9:00～10:30 <場所：南郷体育館>

「励まし、助け合い、感動の共有や協調性を高める」そんなコンセプトを具現化したスポーツがキンボールです。宿泊活動の締めくくりは、チーム対抗で絆を深めました。講師は、指導委員長の平塚真一郎先生。



”巨大なボール”を床に落とさないようにするには全員の協力が必要なため、一体感を味わうことができ協調性を養うことができます。塾生と指導委員が一体になり交流を深めました。

キンボールを通して一層の交流が持て、自然に笑顔がこぼれてきました。

●閉会式 11:00

●振り返り・まとめ

宿泊研修を通して、塾生同士や塾生と指導委員が触れ合い、関わり合いながら、多様な価値観を吸収することができ、塾生一人一人の貴重な宝物になりました。今回の宿泊活動を機会に、今後の実践活動に生かしていきたいと思えます。

ホーム



耕人塾の活動



令和2年度の活動



令和元年度の活動



平成30年度の活動



第13回「耕人塾」第7期 閉塾式

第12回

第11回

第10回

第9回

第7-8回 宿泊研修

第6回

第5回

第4回

第3回

第2回

第1回

平成29年度の活動



平成28年度の活動



平成27年度の活動



平成26年度の活動



平成25年度の活動



平成24年度の活動

報道・受賞